

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成23年9月9日  
審査機関名 SGSジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	めっき工場におけるボイラーの更新（灯油→都市ガス）
排出削減事業者名	株式会社ケディカ
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
事業実施場所	株式会社ケディカ 南工場 (宮城県仙台市泉区明通3-15-1)
事業の概要	本事業は、ボイラーを高効率の機種へ更新すると共に、灯油から都市ガスへの燃料転換によりCO2排出量を削減する事業である。
	2008年度： 64tCO2/年 2009年度： 124tCO2/年 2010年度： 124tCO2/年 2011年度： 124tCO2/年 2012年度： 124tCO2/年 (事業実施期間合計560tCO2/年)
国内クレジット認証期間	開始日 2008年 9月24日 終了予定日 2013年 3月 31日
排出削減方法論	方法論番号001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：株式会社ケディカ 南工場</p> <p>宮城県仙台市泉区明通3-15-1</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2011年9月5日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び関連書類で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収は困難であることを確認した。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。また投資回収年数の算出については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業者は太陽光パネルの導入を行う等、積極的な省エネ活動及び環境活動に取り組んでいる。本事業においては、灯油ボイラーは使用可能であったが、灯油価額変動への対応や灯油タンクからの漏油による環境汚染等のリスク低減が、目的であることを現地インタビューにて確認した。本件はそもそも補助金利用ができる狙いでもあったが、計画を進めていく中で国内クレジット制度が策定されていることを聴取し、本制度利用も想定した事業であったことを現地インタビューにて確認した。又、本制度参加により環境への配慮及び意識をPR出来ることから本事業が実施される一因となっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論001に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>「方法論001」</p> <p>適用条件1：既存のボイラー設備よりも高効率のボイラー設備に更新していることをカタログ値にて確認した。</p> <p>適用条件2：既存のボイラー設備の更新を行わなかった場合、継続して利用できることをヒアリング及び関連書類にて確認している。</p> <p>適用条件3：事業実施後のボイラー設備で生産した蒸気を自家消費していることを現地インタビュー及び現地設備にて確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

### 4. 特記事項

・特記事項なし

以上